

# 令和 7 年度 定時総会議案書

日 時 令和 7 年 6 月 14 日（土） 13:00～

場 所 兵庫県臨床検査技師会 研修センター



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会

## 令和 7 年度 定時総会

### 【次 第】

1. 開会の辞
1. 議長選出
1. 書記任命
1. 総会の資格審査
1. 議事録署名人に関する件
1. 報告事項
  - 令和 6 年度 事業報告
1. 議案審議
  - (1) 第 1 号議案
    - 令和 6 年度 決算報告
    - 令和 6 年度 監査報告
1. 書記解任
1. 議長解任
1. 閉会の辞

## 目 次

はじめに	3
------	---

### 【報告事項】

#### 令和6年度 事業報告

I 法人事務局	
1. 総務部	3
公益社団法人として事務を円滑に進めることができる環境を整備する。 また各部局との連携強化を図り、公益と共益のバランスが取れた事業展開を支援する。	
2. 経理部	5
令和6年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会決算を提出する。	
II 事業推進局	
1. 公益目的事業（1）	5
公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業。	
2. 公益目的事業（2）	6
臨床検査の標準化推進及び精度管理調査・指導を行う事業。	
3. 公益目的事業（3）	7
学術及び技術の振興を目的とする事業。	
III 組織活動局	
1. 共益事業（他1）	7
会員の資質を向上させる事業。	
2. 広報事業（他2）	9
会員に有益な情報提供する事業。	

### 【第1号議案】

令和6年度 決算報告	10
令和6年度 監査報告	10

## はじめに

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会は、衛生思想の普及啓発及び臨床検査技術の振興を通じて、地域保健事業への協力を行うとともに、臨床検査の技術及び知識の高揚を図り、もって公衆衛生の向上と県民の健康の保持、増進に寄与することを目的とし、3つの公益事業（公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業、臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業、学術及び技術の振興を目的とする事業）と2つの共益事業（会員の資質を向上させる事業、広報事業）を軸に様々な活動を展開している。

公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業は、公益事業部と渉外部による水平横断的な連携で対応し、県民の健康増進と疾病予防、公衆衛生の向上を目指した市民公開講座やがん検診を促進するPR活動（LOVE49 キャンペーン in KOBE）等を行った。また、多職種連携を意識し、医療職団体協議会、プライマリ・ケア協議会、がん診療連携協議会、糖尿病療養指導士連合会等との交流を深めた。特に医療職団体協議会においては、阪神淡路大震災から30年ということもあり震災をテーマとした研修会を実施した。

臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業は、精度管理事業部が担当し、兵庫県医師会と連携して臨床検査の精度保証のために県下の施設を対象とした調査及び指導を行った。

学術及び技術の振興を目的とする事業は、学術部が担当し、各種研修会を実施した。また、学術部の研修会は会員のニーズに答えて可能な限りZoomを活用したハイブリッド形式での開催も併用した。また、令和6年度兵庫県医学検査学会（第28回）を第33回東播地区研究発表会と合同で加古川総合保健センターにて集合形式で開催した。

会員の資質を向上させる事業は、組織部と渉外部が担当し、Zoomを活用した組織地区活動を実施し、会員相互の情報交換と技術や知識の向上を図るとともに会員の意見が技師会活動に反映するように努めた。

広報事業は、広報部が担当し、当会の活動を会員及び一般の皆様によりわかりやすく伝達するため、各種広報媒体を活用した情報発信、啓発活動を行った。会員からの意見をもとに、HYOGO JOURNALの冊子による発行部数を必要最低限とし、経費削減にも努めた。また、HYOGOニュースの紙面充実にも取り組み、兵庫技の活動をタイムリーに掲載出来るようにした。

各種法人事務作業は事務局、総務部、経理部が担当した。理事会はコロナ前の状況に戻し、執行部ならびに各理事との情報共有・連携強化を図った。加えて、各理事の担当部局における業務分担の明確化に努め、事務局の効率的な運営に取り組んだ。なお、決算に関しては、第1号議案として経理部が別途報告する。

当会の事業が大過なく展開できたのは、会員各位および賛助の皆さま及び兵庫県をはじめ、兵庫県医師会等の関連団体各位の協力のお陰であり、深謝するとともに、今後とも継続してのご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます次第である。

## 【報告事項】

### 令和6年度 事業報告

#### I. 法人事務局

##### 【総務部】

##### 1. 会務執行体制

理事会の議を経て各局・各部の会務を執行した。

事務作業は、臨時職員3名体制で新型コロナ感染対策に配慮しながら迅速かつ効率的に実施した。

HYOGO ニュースや日臨技システムの一斉メールと共にホームページを活用し、会員への迅速な情報提供を実施した。

国・都道府県公式公益法人行政総合情報サイトに電子申請を行った。

- ・令和5年度事業報告（令和6年6月30日）
- ・令和7年度事業計画（令和7年3月1日）

##### 2. 総会の開催

定款に基づき令和6年度定時総会を開催した。（令和6年6月8日）

### 3. 理事会の開催

規程に基づき理事会（7回）を開催した。

### 4. 委員会の開催

- ・組織運営規程第3章第5条に規定されている常設委員会として、地区委員会、専門委員会（精度管理委員会、学術部会）を開催した。
- ・功労賞・学術奨励賞選出規程に基づき功労賞・学術奨励賞選出委員会を開催した。
- ・役員候補者選出規程に基づき役員候補者選出委員会を開催した。

### 5. 新春セミナーおよび令和7年度新年交礼会

【開催日】令和7年1月18日（土）

【会場】ザ マーカススクウェア神戸

【講演】新春セミナー『未来を担う臨床検査技師のために』

①新制度の臨地実習へ至る背景と期待

②病院にきた学生に何を教える？～私たちの仕事を未来に残すために～

【講師】①坂本 秀生 先生（日本臨床検査学教育協議会 理事長）

②藤田 望 先生（日本臨床衛生検査技師会 理事 臨地実習指導者講習会WG委員長）

【参加者】103名

### 6. 関連団体への対応として行政及び関連団体への委員、役員等の派遣を行った。

- ・精度管理専門委員（兵庫県、神戸市、姫路市）
- ・日臨技、日臨技近畿支部
- ・健康ひょうご21県民運動推進会
- ・精度管理調査検討会
- ・健康づくり推進員
- ・兵庫県プライマリ・ケア協議会
- ・糖尿病療養指導士兵庫県連合会
- ・兵庫県合同輸血療法委員会
- ・兵庫県医療職団体協議会
- ・兵庫県がん診療連携協議会幹事会
- ・子宮の日実行委員会

### 7. 各種表彰について

- |                              |    |
|------------------------------|----|
| ・令和6年 春の叙勲 受賞（瑞宝双光章）         | 1名 |
| ・令和6年度 兵庫県健康財団会長表彰（がん予防功労）   | 1名 |
| ・令和6年度 日臨技貢献賞                | 1名 |
| ・令和6年度 兵庫県公衆衛生協会会長表彰（公衆衛生功労） | 1名 |
| ・令和6年度 兵臨技功労賞                | 2名 |
| ・令和6年度 兵臨技学術奨励賞              | 1名 |

### 8. 事務作業の迅速化・簡素化

各種会議は、新型コロナ感染対策としてWebを併用し、経費の削減に努めた。理事会等の資料・報告書等の伝達及び保管については電子化に努め、コスト削減・業務の効率化を図った。また、会務の諸連絡は電子メール等の電子媒体を活用し、情報伝達の迅速化、共有化を行った。

### 9. JAMT「一斉メール」機能の使用について

現在、会員管理を日本臨床衛生検査技師会「都道府県技師会専用サイト」で行っている。本システムの「一斉メール」機能を利用して、兵臨技からの案内をメールアドレスの登録をしている全会員に配信している。

### 10. 令和7年3月31日現在の会員状況

地区別正会員数状況（正会員数）

	施設数	会員数
神戸地区	121	974
阪神地区	64	553
丹但地区	14	103
東播地区	48	483
西播地区	48	446
その他	0	31
合計	295	2590

賛助会員数 56 社

## 【経理部】

(第 1 号議案) 令和 6 年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会決算報告書を提出する。

<決算書類>貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、財産目録

## Ⅱ. 事業推進局

### 【公益事業部】公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業（公 1）

県民に対して公衆衛生、保健・医療、臨床検査の重要性や有効性に関連する情報提供を通し、疾病予防の関心を高め、健康診断受診率の向上を図り、公衆衛生の向上を図ることを目的として各事業を実施した。

#### 1. 各協議会との協働参画事業

(1) 兵庫県がん連携協議会 検査セミナー

【開催日】令和 6 年 12 月 14 日（土）

【会場】神戸市教育会館 大ホール（Zoom による Web 開催を併用）

【内容】テーマ：見えない敵とどう戦うか ～がんと微生物に対する両面作戦～

講演 1. 演題名：がん患者などの免疫不全者における呼吸器感染症-COVID-19 も含めて-

演者：黒田 浩一 先生（神戸市立医療センター中央市民病院 感染症科）

講演 2. 演題名：がんと微生物

演者：山本 剛 先生（大阪大学大学院医学系研究科変革的感染制御システム開発学寄附講座）

【参加者】94 名（会場 41 名、Web 53 名、協議会役員 10 名、技師会理事 12 名）

(2) 第 51 回兵庫県医療職団体協議会研修会

【開催日】令和 7 年 2 月 11 日（祝・火）

【会場】兵庫県看護協会会館ハーモニーホール

【内容】“災害時の支援・受援について考える ～災害発生時の取り組みと平時の備え～”を主題に、医療職団体協議会所属の各団体（放射線技師会、歯科衛生士会、栄養士会、兵庫 JRAT、看護協会臨床検査技師会、臨床工学技士会、薬剤師会）の発表が行われた。当会からも安部史生渉外部長がシンポジストを務めた。

【参加者】118 名

(3) 災害訓練活動

令和 6 年度兵庫県・但馬地合同防災訓練

【開催日】令和 6 年 9 月 1 日（日）

【会場】養父市立関宮学園、但馬空港他

【内容】

【参加者】0 名

台風 10 号の接近により開催中止

#### 2. 啓発事業

(1) 子宮頸がん予防啓発キャンペーン（LOVE49 キャンペーン in KOBE）

【開催日】令和 6 年 4 月 14 日（日）

【会場】須磨パティオ・大丸須磨店

【内容】一般の方を対象に、資料配布、音楽ミニコンサート、神戸常盤大学学生「ときわがかり」による子宮頸がん予防フォーラム、顕微鏡コーナー、パネル展示、セミナーを行った。

【来場者数】大丸須磨店来場者を対象としたため不明。資料は当日 700 部配布。

## (2) 検査と健康展

【開催日】令和 6 年 11 月 3 日（日）

【会場】神戸常盤大学

【内容】1. 一般の方を対象にし、健康チェックを実施

頸動脈エコー、体組成測定、ヘモグロビン測定、血管年齢測定、骨密度測定

2. 子ども向け企画

顕微鏡、エコーの体験、健康に関するクイズ

3. 広報ブース

【来場者数】頸動脈エコー 258 名、体組成測定 100 名、ヘモグロビン測定 271 名、血管年齢測定 210 名、骨密度測定 244 名、子ども向け企画 150 名

## 3. 市民公開講座

(1) 令和 6 年度 第 12 回 医療公開講座

【開催日】令和 6 年 7 月 21 日（日）

【会場】丸尾建設あすかホール

【内容】「脳波検査ってどんなの？」

【講師】吉田 真子 先生（県立はりま姫路総合医療センター）

【内容】「本態性振戦に対する超音波集束療法～手のふるえを抑える最新治療～」

【講師】下本地 航 先生（三栄会 ツカザキ病院）

【参加者】144 名

(2) 第 11 回丹但地区市民公開講座

【開催日】令和 6 年 6 月 23 日（日曜日）会場・Web（Zoom）のハイブリッド開催

【会場】JA たじま和田山 会議室

【内容】アルツハイマー病におけるアミロイド診断の意義

【講師】公立八鹿病院院長 西村 正樹 先生

【参加者】現地 22 名（一般 3 名含）、Web 参加 12 名

## 【精度管理事業部】臨床検査の標準化調査及び精度管理指導を目的とする事業（公 2）

医療法の一部改正があり精度管理の普及や重要性が高まる中、臨床検査の標準化調査及び精度管理指導に関する事業は、県と兵庫県医師会、当会が共同で行う事業で、県の臨床検査実施機関の臨床検査データの標準化、共有化を図ることで、県民に信頼性の高い臨床検査データを提供することを目的として実施した。

【実施】令和 6 年 11 月

【評価・報告】令和 7 年 3 月

【参加施設数】138 施設

【調査概要】日臨技精度管理システム（JAMTQC）により、申込み・結果報告、集計、解析等を行った。

【調査項目】臨床化学検査、ヘモグロビン A1c 検査、血液ガス検査、免疫血清検査、血球計数検査、血液像検査（フォトサーベイ）、凝固検査、便潜血検査、尿沈渣検査（フォトサーベイ）、微生物検査、微生物塗抹鏡検（フォトサーベイ）、輸血検査、病理組織検査、免疫組織化学染色、細胞診（フォトサーベイ）、生理機能検査（フォトサーベイ）

【調査内容】各検査調査項目に対して、当会から配布した試料を個々の施設で行う検査方法・測定機器にて測定し、その測定値を当会精度管理事業部で集計、統計学的手法（各検査項目の目標値または平均値、標準偏差値、変動係数等）で分析を行った。写真や細胞画像等から所見判定を問う調査（フォトサーベイ）は、所見（エピソード）、細胞、細菌等から想定される病名や種類等を総合的に判断する知識と能力を問うものであり、病理標本はその染色性について評価した。

評価については、昨年同様 A・B・C の 3 段階とし施設別評価表にその一覧を掲載した。

統計学的手法から逸脱する施設に対して、文書での通知や測定時の状況を調査して学術部が指導するなど手厚いサポートを行った。

【調査報告】調査結果は JAMTQC に施設別評価表を掲載し、参加施設が自施設の結果を出力し確認することが可能であった。また、精度管理解析資料集を発行し、各学術研究班による精度管理報告会および医師会との合同精度管理検討会を開催した。兵臨技ホームページに精度管理解析資料集の簡易版を掲載し、各施設が随時閲覧可能な環境を提供した。

【サポート体制】令和 6 年度兵臨技精度管理調査の結果 51 施設がサポート対象となった。次年度に向けて精度管理調査のサポート体制がより効果を発揮できるように運用の改善に取り組み、臨床検査の品質向上に貢献していく。

### 【学術部】学術及び技術の振興を目的とする事業（公 3）

臨床検査は、医療の中でもっとも重要性の高いもののひとつであり、診断、治療効果の判断材料とされている。それら日進月歩で進化する医療の知識や技術に対応するため臨床検査技師・医療関連職種の資質の向上が必須である。学術活動を通じて最新の医療の知識や技術を習得し、安全で安心な医療を目指して会員の資質向上を図るため、年間を通じて専門分野ごとに数多くの研修会及び技能習得のための実習会を開催している。

今年度に関しても、多くの部門でハイブリッド研修会を開催した。遠方の参加者を考慮してハイブリッド開催をしているが、現地参加者が少なく今までとは異なった研修会の形となってきた。学術部として、今後の研修会の在り方を考えていく時期に入っていると思われる。

また、兵庫県医学検査学会を東播地区研究発表会と合同で開催し、多くの参加者があった。

#### <臨床検査技師を対象とするもの>

##### 1. 学術研修事業

実務経験に応じたレベルごとの研修や、多様な臨床検査技術に関する各種研修を実施し、臨床検査技師の専門的な知識、技術を高め、高度医療や先進医療に対応できる人材の育成を目的とし開催した。

(1) 微生物検査研修：研修回数	9 回、参加者 497 名
(2) 化学免疫検査研修：研修回数	7 回、参加者 242 名
(3) 血液検査研修：研修回数	6 回、参加者 184 名
(4) 病理細胞検査研修：研修回数	11 回、参加者 614 名
(5) 生理検査研修：研修回数	6 回、参加者 317 名
(6) 一般検査研修：研修回数	8 回、参加者 328 名
(7) 輸血検査研修：研修回数	3 回、参加者 87 名
(8) チーム医療研修：研修回数	1 回、参加者 34 名
(9) 血液・遺伝子合同研修会：	1 回、参加者 48 名

##### 2. 就労研修事業

医療機関及び検査機関等において有能な臨床検査技師の確保・定着を促進し、地域における臨床検査の迅速化、正確化を図るため、臨床検査からブランクのある離職者および担当業務よりブランクのある会員に対して専門的な実践研修（実技講習会）を実施するように毎年企画していたが、コロナ流行以降に関しては、実技研修の機会は減少傾向であり、少しずつ以前の状態に戻し実技研修の機会は増やしていく方向で進めていきたい。

##### 3. 臨床検査支援事業

- (1) 県民に対し、臨床検査内容を適切に説明できるよう、臨床検査情報の提供を行うための知識・技能等を習得するため、研修会等において指導を行った。
- (2) 県内各地域で研修会を開催し、地域で勤務する臨床検査技師の修学・技術習得意識の向上を図り地域の臨床検査技師の資質向上を図った。

## Ⅲ. 組織活動局

### 共益事業（他 1）

#### 【組織部】会員の資質を向上させる事業

地区活動を通じ、会員相互の情報交換と技術や知識の向上を図るとともに会員の意見が技師会活動に



反映されるように以下の事業を行った。

1. 組織強化及び情報交換・共有化事業

実施内容：施設責任者・連絡者会議の開催、検査情報共有化

<丹但地区>

(1) 令和6年度丹但地区施設責任者・連絡者会議

【開催日】令和6年5月28日(火)

【会場】Web開催

【参加者】17名

(2) 第44回丹但地区研究発表会

【開催日】令和6年6月23日(日)

【会場】JAたじま和田山会議室・Web併用

【参加者】62名

(3) 令和6年度丹但地区 地区会議

【開催日】令和7年2月13日(木)

【会場】Web開催

【参加者】9名

(4) 第19回丹但地区研修会

【開催日】令和7年3月1日(土)

【会場】公立八鹿病院研修ルーム

【参加者】28名

<西播地区>

(1) 令和6年度第1回西播地区 地区会議

【開催日】令和6年6月12日(水)

【会場】あすかホール 会議室

【参加者】23名

(2) 第41回西播地区研究発表会

【開催日】令和6年7月21日(日)

【会場】あすかホール 中ホール

【参加者】165名

(3) 令和6年度第1回西播地区施設責任者・連絡者会議

【開催日】令和6年8月28日(水)

【会場】Web開催

【参加者】30名

(4) 第14回西播地区研修会

【開催日】令和7年2月6日(木)

【会場】県立はりま姫路総合医療センター 講義室(ハイブリッド開催)

【参加者】52名

(5) 令和6年度第2回西播地区 地区会議

【開催日】令和7年3月26日(水)

【会場】Web開催

【参加者】27名

<東播地区>

(1) 第1回東播地区ナイトセミナー

【開催日】令和6年8月30日(金)

【会場】Web開催

【参加者】34名

(2) 第2回東播地区ナイトセミナー

【開催日】令和6年12月6日(金)

【会場】明石市立市民病院 講義室(ハイブリッド開催)

【参加者】52名

(3) 第28回兵庫県医学検査学会・第33回東播地区研究発表会

【開催日】令和7年2月15日(土)

【会場】加古川総合保健センター

【参加者】102名

(4) 令和6年度東播地区施設責任者・連絡者会議

【開催日】令和7年2月15日(土)

【会場】加古川総合保健センター

【参加者】12名

#### <神戸・阪神地区>

(1) 令和6年度新人研修会・交流会

【開催日】令和6年8月10日(土)

【会場】兵臨技研修センター・GARDEN 三宮

【参加者】28名・52名

(2) 令和6年度阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議

【開催日】令和7年2月28日(金)

【会場】Web開催

【参加者】21名

#### 2. 職業紹介事業(担当: 渉外部)

県内の求人情報の提供(ホームページにて延べ95名の紹介)を行った。

#### 3. 業務疑義照会(担当: 渉外部)

会員及び施設からの検査業務に関する問い合わせは7件であった。

#### 広報事業(他2)

##### 【広報】会員に有益な情報提供する事業

事業概要のもと、当会の活動を県民への広報と機関紙及び会報発行を行い会員相互への情報提供、職業意識の共有化を図るため、各種広報媒体を活用した情報発信と効果的・効率的な啓発活動を展開した。

##### 1. 会報、機関紙の発行

(1) 会報「HYOGO JOURNAL」について

新春特集(会員向け事業報告)

第46巻 第1号(通巻250号) 令和7年3月17日発行

(2) 機関紙「HYOGO ニュース」について

隔月発行 第389～393号

##### 2. ホームページの随時更新掲載(臨床検査情報センター)

情報発信・受信の場をリアルタイム性の高いホームページ主体で行った。

(1) 市民公開講座、講演会、学会、研修会などの案内と報告

- (2) 医療関連情報の提示、施設および賛助会員紹介など
- (3) 精度管理事業の公開（案内、報告など）
- (4) 関連団体の学会、研修会などの案内
- (5) Web 行事予定表
- (6) Web 求人情報

### 3. 取材活動

記事作成のため、下記において広報部より取材をした。

- (1) 令和6年度 第44回丹但地区研究発表会

【開催日】令和5年6月23日（日）

- (2) 第41回西播地区研究発表会・第12回医療公開講座

【開催日】令和6年7月21日（日）

- (3) 令和6年度 新人研修会

【開催日】令和6年8月10日（土）

- (4) 第2回 東播地区ナイトセミナー(現地+Web 開催)

【開催日】令和6年12月6日（金）

- (5) 令和6年度「検査セミナー」

【開催日】令和6年12月14日（土）

- (6) 都道府県技師会リーダー育成研修会

【開催日】令和7年2月1日（土）

- (7) 第14回西播地区研修会

【開催日】令和7年2月6日（木）

- (8) 第28回兵庫県医学検査学会・第33回東播地区研究発表会

【開催日】令和7年2月15日（土）

- (9) 令和6年度 第19回 丹但地区研修会

【開催日】令和7年3月1日（土）

### 【第1号議案】

**令和6年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 決算報告**

《決算書類》貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、財産目録

**令和6年度 公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 監査報告**

《監査書類》監査報告書

# 貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

公益社団法人兵庫県臨床検査技師会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,215,076	5,907,611	692,535
立替金	8,470	0	8,470
貯蔵品	10,000	25,000	15,000
流動資産合計	5,233,546	5,932,611	699,065
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
什器備品	294,526	532,281	237,755
ソフトウェア	99,330	158,928	59,598
功労賞預金	5,000,000	5,000,000	0
研修センター維持積立預金	2,533,118	2,533,051	67
保証金	2,500,000	2,500,000	0
その他固定資産合計	10,426,974	10,724,260	297,286
固定資産合計	10,426,974	10,724,260	297,286
資産合計	15,660,520	16,656,871	996,351
負債の部			
1. 流動負債			
前受金	1,385,000	1,575,000	190,000
預り金	0	62,094	62,094
流動負債合計	1,385,000	1,637,094	252,094
負債合計	1,385,000	1,637,094	252,094
正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	14,275,520	15,019,777	744,257
一般正味財産合計	14,275,520	15,019,777	744,257
正味財産合計	14,275,520	15,019,777	744,257
負債及び正味財産合計	15,660,520	16,656,871	996,351

# 正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

公益社団法人兵庫県臨床検査技師会

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	[ 0]	[ 8,000]	[ 8,000]
受取入会金	0	8,000	8,000
受取会費	[ 15,950,000]	[ 15,505,000]	[ 445,000]
正会員受取会費	13,050,000	12,605,000	445,000
賛助会員受取会	2,900,000	2,900,000	0
事業収益	[ 6,648,500]	[ 7,764,500]	[ 1,116,000]
精度管理事業	3,495,000	3,560,000	65,000
学術事業	1,846,000	2,340,000	494,000
会員資質向上事業	347,500	144,500	203,000
記念事業	0	1,410,000	1,410,000
広報事業	440,000	310,000	130,000
参加収益	520,000	0	520,000
受託収益	[ 960,517]	[ 1,021,643]	[ 61,126]
日臨技受託収益	165,800	63,550	102,250
精度管理事業受	794,717	958,093	163,376
受取助成金	[ 1,331,780]	[ 1,463,000]	[ 131,220]
日臨技助成金	1,331,780	1,463,000	131,220
雑収益	[ 15,736]	[ 6,804]	[ 8,932]
受取利息	10,224	660	9,564
雑収益	5,512	6,144	632
経常収益計	24,906,533	25,768,947	862,414
(2) 経常費用			
公益事業費	[ 14,808,019]	[ 16,179,963]	[ 1,371,944]
給与手当	1,205,969	1,180,838	25,131
臨時雇賃金	2,313,194	2,379,350	66,156
福利厚生費	620,105	388,660	231,445
会議費	0	210,000	210,000
旅費交通費	1,585,840	1,997,160	411,320
通信運搬費	304,699	641,003	336,304
消耗品費	3,012,552	2,765,835	246,717
印刷製本費	288,675	374,550	85,875
委託費	0	301,000	301,000
図書費	0	203,490	203,490
研修費	15,000	15,000	0
光熱水料	353,056	358,396	5,340
賃借料	3,392,449	3,050,756	341,693
諸謝金	1,373,743	1,759,346	385,603
諸会費	5,000	5,000	0
支払負担金	110,000	0	110,000
保守料	110,000	125,609	15,609

科 目	当年度	前年度	増 減
渉外費	5,000	0	5,000
減価償却費	112,737	423,970	311,233
共益事業費	[ 6,663,172]	[ 5,589,167]	[ 1,074,005]
給与手当	602,984	590,417	12,567
臨時雇賃金	444,846	457,567	12,721
福利厚生費	182,387	114,312	68,075
会議費	250,760	0	250,760
旅費交通費	414,540	226,000	188,540
通信運搬費	587,683	647,728	60,045
消耗品費	954,263	54,995	899,268
印刷製本費	1,618,065	1,887,600	269,535
委託費	0	117,000	117,000
光熱水料	133,232	131,873	1,359
賃借料	1,032,094	927,426	104,668
諸謝金	42,318	34,249	8,069
保守料	300,000	300,000	0
表彰制度運営費	100,000	100,000	0
管理費	[ 4,179,597]	[ 6,642,286]	[ 2,462,689]
給料手当	200,996	196,807	4,189
臨時雇賃金	207,596	213,527	5,931
福利厚生費	107,579	71,984	35,595
旅費交通費	589,500	589,090	410
通信運搬費	817,546	904,503	86,957
什器備品費	322,428	0	322,428
消耗品費	97,850	121,515	23,665
修繕費	319,000	0	319,000
印刷製本費	0	28,600	28,600
光熱水料費	179,856	165,988	13,868
図書費	9,930	9,930	0
賃借料	374,784	3,524,903	3,150,119
諸謝金	5,568	5,568	0
支払負担金	30,000	20,000	10,000
租税公課	1,700	1,100	600
表彰運営費	0	50,000	50,000
委託費	589,940	365,365	224,575
慶弔費	102,000	98,000	4,000
保守料	35,520	0	35,520
雑費	3,190	6,190	3,000
減価償却費	184,614	269,216	84,602
経常費用計	25,650,788	28,411,416	2,760,628
評価損益等調整前当期経常増減額	744,255	2,642,469	1,898,214
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	744,255	2,642,469	1,898,214

科 目	当年度	前年度	増 減
2 . 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[ 2]	[ 0]	[ 2]
経常外費用計	2	0	2
当期経常外増減額	2	0	2
当期一般正味財産増減額	744,257	2,642,469	1,898,212
一般正味財産期首残高	15,019,777	17,662,246	2,642,469
一般正味財産期末残高	14,275,520	15,019,777	744,257
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	14,275,520	15,019,777	744,257

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

公益社団法人兵庫県臨床検査技師会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	合計
	公1衛生事業	公2精度管理事	公3学術事業	小計	他1会員事業	他2広報事業	小計	法人事業	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費	2,500,000	1,200,000	2,900,000	6,600,000	2,750,000	3,000,000	5,750,000	3,600,000	15,950,000
正会員受取会費	1,500,000	800,000	1,400,000	3,700,000	2,750,000	3,000,000	5,750,000	3,600,000	13,050,000
賛助会員受取会	1,000,000	400,000	1,500,000	2,900,000	0	0	0	0	2,900,000
事業収益	252,500	3,495,000	1,846,000	5,593,500	615,000	440,000	1,055,000	0	6,648,500
精度管理事業	0	3,495,000	0	3,495,000	0	0	0	0	3,495,000
学術事業	0	0	1,846,000	1,846,000	0	0	0	0	1,846,000
会員資質向上事業	0	0	0	0	347,500	0	347,500	0	347,500
広報事業	0	0	0	0	0	440,000	440,000	0	440,000
参加収益	252,500	0	0	252,500	267,500	0	267,500	0	520,000
受託収益	0	794,717	0	794,717	0	0	0	165,800	960,517
日臨技受託収益	0	0	0	0	0	0	0	165,800	165,800
精度管理事業受	0	794,717	0	794,717	0	0	0	0	794,717
受取助成金	462,280	0	869,500	1,331,780	0	0	0	0	1,331,780
日臨技助成金	462,280	0	869,500	1,331,780	0	0	0	0	1,331,780
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	15,736	15,736
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	10,224	10,224
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	5,512	5,512
経常収益計	3,214,780	5,489,717	5,615,500	14,319,997	3,365,000	3,440,000	6,805,000	3,781,536	24,906,533
(2) 経常費用									
公益事業費	3,463,017	5,662,450	5,682,552	14,808,019	0	0	0	0	14,808,019
給与手当	442,188	401,989	361,792	1,205,969	0	0	0	0	1,205,969
臨時雇賃金	711,753	919,346	682,095	2,313,194	0	0	0	0	2,313,194
福利厚生費	227,979	155,027	237,099	620,105	0	0	0	0	620,105
旅費交通費	145,240	90,000	1,350,600	1,585,840	0	0	0	0	1,585,840
通信運搬費	8,233	268,025	28,441	304,699	0	0	0	0	304,699
消耗品費	377,556	2,414,895	220,101	3,012,552	0	0	0	0	3,012,552
印刷製本費	1,258	277,350	10,067	288,675	0	0	0	0	288,675
研修費	15,000	0	0	15,000	0	0	0	0	15,000
光熱水料	66,615	113,245	173,196	353,056	0	0	0	0	353,056
賃借料	1,145,138	272,052	1,975,259	3,392,449	0	0	0	0	3,392,449
諸謝金	165,586	640,521	567,636	1,373,743	0	0	0	0	1,373,743
諸会費	5,000	0	0	5,000	0	0	0	0	5,000
支払負担金	110,000	0	0	110,000	0	0	0	0	110,000
保守料	0	110,000	0	110,000	0	0	0	0	110,000
渉外費	0	0	5,000	5,000	0	0	0	0	5,000
減価償却費	41,471	0	71,266	112,737	0	0	0	0	112,737
共益事業費	0	0	0	0	3,318,867	3,344,305	6,663,172	0	6,663,172
給与手当	0	0	0	0	261,293	341,691	602,984	0	602,984
臨時雇賃金	0	0	0	0	266,908	177,938	444,846	0	444,846
福利厚生費	0	0	0	0	109,433	72,954	182,387	0	182,387
会議費	0	0	0	0	250,760	0	250,760	0	250,760
旅費交通費	0	0	0	0	252,540	162,000	414,540	0	414,540
通信運搬費	0	0	0	0	126,498	461,185	587,683	0	587,683
消耗品費	0	0	0	0	923,601	30,662	954,263	0	954,263
印刷製本費	0	0	0	0	28,943	1,589,122	1,618,065	0	1,618,065
光熱水料	0	0	0	0	79,939	53,293	133,232	0	133,232
賃借料	0	0	0	0	876,634	155,460	1,032,094	0	1,032,094
諸謝金	0	0	0	0	42,318	0	42,318	0	42,318
保守料	0	0	0	0	0	300,000	300,000	0	300,000
表彰制度運営費	0	0	0	0	100,000	0	100,000	0	100,000
管理費	0	0	0	0	0	0	0	4,179,597	4,179,597
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	200,996	200,996
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	207,596	207,596
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	107,579	107,579
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	589,500	589,500
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	817,546	817,546
什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	322,428	322,428
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	97,850	97,850
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	319,000	319,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	179,856	179,856
図書費	0	0	0	0	0	0	0	9,930	9,930
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	374,784	374,784
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	5,568	5,568
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	30,000	30,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	1,700	1,700
委託費	0	0	0	0	0	0	0	589,940	589,940
慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	102,000	102,000
保守料	0	0	0	0	0	0	0	35,520	35,520
雑費	0	0	0	0	0	0	0	3,190	3,190
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	184,614	184,614
経常費用計	3,463,017	5,662,450	5,682,552	14,808,019	3,318,867	3,344,305	6,663,172	4,179,597	25,650,788
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 248,237	△ 172,733	△ 67,052	△ 488,022	46,133	95,695	141,828	△ 398,061	△ 744,255
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 248,237	△ 172,733	△ 67,052	△ 488,022	46,133	95,695	141,828	△ 398,061	△ 744,255
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	2	2
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	2	2
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	△ 2	△ 2
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 248,237	△ 172,733	△ 67,052	△ 488,022	46,133	95,695	141,828	△ 398,063	△ 744,257
当期一般正味財産増減額	△ 248,237	△ 172,733	△ 67,052	△ 488,022	46,133	95,695	141,828	△ 398,063	△ 744,257
一般正味財産期首残高	△ 2,237,458	△ 899,023	△ 2,576,751	△ 5,713,232	824,810	1,848,697	2,673,507	18,059,502	15,019,777
一般正味財産期末残高	△ 2,485,695	△ 1,071,756	△ 2,643,803	△ 6,201,254	870,943	1,944,392	2,815,335	17,661,439	14,275,520



II	指定正味財産増減の部								
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III	基金増減の部								
	当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
	基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
	基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
IV	正味財産期末残高	△ 2,485,695	△ 1,071,756	△ 2,643,803	△ 6,201,254	870,943	1,944,392	2,815,335	17,661,439

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・ソフトウェア・・・定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

4. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	0	0	0	0
退職給付引当金	0	0	0	0	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			0
什器備品	3,765,388	3,470,862	294,526
ソフトウェア	297,990	198,660	99,330
	4,063,378	3,669,522	393,856

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金等の名称					
一般正味財産増減の部					
日臨技助成金	一社) 日本臨床検査技師会		1,331,780	1,331,780	0
合 計		0	1,331,780	1,331,780	0

附 属 明 細 書

重要な固定資産の明細及び引当金の明細については、上記財務諸表に対する注記に記載しているため、記載を省略する。

# 財産目録

令和 7年 3月31日現在

公益社団法人兵庫県臨床検査技師会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等		金 額	
(流動資産)							
	現金	手元保管		運転資金として		618,513	
	預金	普通預金				4,596,563	
		三井住友銀行(本部)		運転資金として		4,293,191	
		振替貯金		運転資金として		303,372	
	立替金	R6年年調超過繰越				8,470	
	貯蔵品	クオカード				10,000	
流動資産合計						5,233,546	
(固定資産)							
	その他固定資産						
	什器備品	協会事務所		主に公益目的事業で使用		294,526	
	ソフトウェア	PCA公益法人会計DX		公益・その他事業で供用		99,330	
	功労賞預金	三菱UFJ信託/神戸		功労賞財源の任意積立金		5,000,000	
	研修センター維持積	みずほ/神戸		センター維持運営の任意積立金		2,533,118	
	保証金	協会事務所				2,500,000	
固定資産合計						10,426,974	
資産合計						15,660,520	
(流動負債)							
	前受金	R7年度前受会費				1,385,000	
	預り金					0	
						0	
流動負債合計						1,385,000	
負債合計						1,385,000	
正味財産						14,275,520	

# 監査報告書

令和7年4月21日

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
会 長 松田 武史 様

監 事 綿 貫 裕



監 事 赤 沢 尚 美



私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び事務局職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益(正味財産増減)の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上